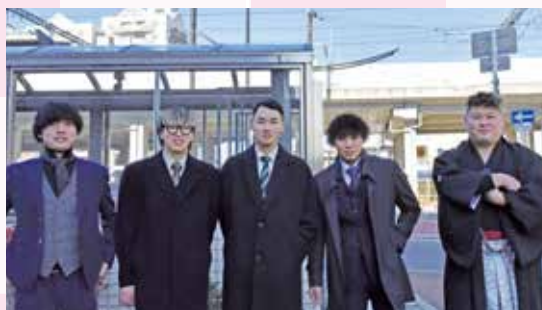




令和7年 高石市二十歳のつどい

1月13日、アプラたかいしで二十歳のつどいが開催され、444人が参加する中、企画委員による初のアトラクション(2部)を実施、今年開催される大阪・関西万博のPRが行われ、公式キャラクターのミャクミャクも登場しました。参加者は友達との再会を楽しみながら、懐かしい思い出を振り返る時間を過ごしました。新たな企画や演出で盛り上がり、皆が笑顔で交流する場となりました。

問合先 社会教育課 ☎(275)6437

これからの先、きっと多くの困難があると思います。ですが、どのような困難に直面しても諦めず、今まで支えてくださった方々、これから出会う方々の力もお借りしながら、自分たちの信念を持って前に進み、成長していきたいと思っています。

私たちは、中学校を卒業する直前から5年の間にコロナ禍を経験し、中学校の卒業式は本番のみになり、高校での行事もほとんどできなくなってしまうなど、思いどおりにいかないことが多くありました。そんな経験をしたからこそ、今日こうして、小、中学校を共に過ごした旧友と集まることができたこと、とても嬉しく思います。



高石中学校区代表
初田 朋美さん

誓いの言葉(一部抜粋)



初の試み！！

企画委員が手がけた二十歳の集い

二十歳のつどい企画委員は、式典を盛り上げるために企画・運営等に携わり、自分たちの手で一生に一度の式典を作り上げました。

学生時代は、コロナの影響を大きく受け、とても残念な気持ちを抱えていました。二十歳のつどいは、人生に一度の大切な機会です。その機会をコロナの制限なく楽しめる素晴らしい思い出にしたいと思い、企画委員に応募しました。

昨年、新成人代表を務め、準備を進める中で、多くの人が二十歳のつどいを支えていることを知りました。今年は、自分が企画に携わることで、二十歳を迎える皆さんに楽しんでもらえる場を作りたいと思い、企画委員に参加しました。



企画等打ち合せの様子



企画委員をやってみて

玉井…9月から企画委員の打ち合わせが始まりましたが、時間が過ぎる早さに驚きました。打ち合わせを重ねてカレンダーを見ると、もう1月。あつという間の時間でした。

企画が思うように盛り上がりませんが、皆さんが笑顔で参加している様子を見たとき、安心しました。

私が委員の中で最年少で不安を抱えていましたが、他の委員の方々に支えていただき、企画を形にして、式典の運営に携われてとても嬉しかったです。

酒井…式典の入場から皆様のキラキラした笑顔を見ることができて嬉しかったです。企画委員としてのこだわりは、記念品の抹茶カステラです。



二十歳のつどい企画委員 写真左から山本魁さん、玉井詩乃さん、森唯奈さん、初田朋美さん、酒井杏さん

このカステラは、「カステラ銀装」の製品で、味の決め手は「つぼ市製茶本舗」の抹茶が使用されている点です。どちらも高石市にゆかりのある会社で、このような工夫を取り入れられたことに大きなやりがいを感じました。

初田…代表挨拶をさせていただいたのですが、その後、みんなから「よかったよ」「かつこよかったよ！」と言ってもらえたのがすごく嬉しかったです。なかなかない機会だと思うので、やれて良かったと心から思えました！

山本…第2部はいつそう盛り上がり、会議で考えた内容を新成人の方々に楽しんでいただけたことがとても嬉しかったです！

森…第2部の抽選会、先生方からのメッセージ、クイズは企画委員で1から考え、作り上げたものでした。

また、私は第1部の司会も担当させていただきました。大勢の前で司会をするのは初めての経験で、とても緊張しましたが、今後に活かせるかけがえのない経験をさせていただきました。

今回、このような機会をくださった方々、本当にありがとうございます。

